

## 研究課題名 変形性膝関節症患者における TUG に影響を及ぼす因子の検討 に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2014年4月1日～2017年12月31日に当院で人工膝関節置換術を受けられた方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

Timed up and go test(TUG)は、下肢筋力、動的バランス、歩行能力を統合した評価指標として使用されている。変形性膝関節症患者(膝 OA 患者)において、TUG は、起立、歩行、階段昇降といった日常生活動作と大きく関連する評価項目として重要と言われている。本研究は、変形性膝関節症患者における TUG に影響を及ぼす因子を包括的な評価項目(筋力、関節可動域、痛み等)から後ろ向きに検討することを目的とした。

方法として電子カルテより情報収集を行う。基本情報は、診療録より年齢、性別、変形重症度を調査する。評価項目は、身体組成(身長、体重、骨格筋量、体脂肪量)、10m歩行速度、TUG、下肢筋力、下肢の関節可動域、疼痛に関する質問紙(Visual Analogue Scale、Pain Catastrophizing Scale)を調査する。術前の TUG と各評価項目との関連性を相関を用いて検討する。

研究期間は、実施承認日から2019年9月30日までとした。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、年齢、性別、変形重症度、身体組成(身長、体重、骨格筋量、体脂肪量)、10m歩行速度、TUG、下肢筋力、下肢の関節可動域、疼痛に関する質問紙(Visual Analogue Scale、Pain Catastrophizing Scale)等。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地  
名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部  
電話番号：052-741-2687

担当者：白井 祐也

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部 加古 誠人